

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。

☆役場総務企画課まで（電話72・0331）

みんなの川をきれいに

板井原川清掃ボランティア

まちのみなさんに親しまれている板井原川の自然環境を守ろうと、7月21日、地元ボランティアが清掃作業を行いました。

9人の中学生を含むボランティア約20人は、根雨神社近くの板井原川周辺の草取り・ごみ拾いのほか、水害で土が流されていた花壇に土や落ち葉を入れ、サルビアとマリーゴールドの苗を植えるなどの作業を行いました。

参加した中学生からは、「小さい頃から遊びにきていた板井原川をきれいにできてうれしい」「自分で希望して参加しました。作業は大変だけどもりがいがある」などの声が聞かれました。



作業に汗を流す中学生

落ち葉は腐葉土に利用



おねがい 川に家庭のごみや空き缶などを捨てる人が後を絶ちません。美しい環境を守るため、ごみを川に捨てるのは絶対にやめましょう！

開通前の道路を歩く「一度きりの」ウォーク大会



開通初日の通り初めパレード

地域交流の大動脈へ

「生山道路」開通

福長と日南町霞を結ぶ、一般国道183号「生山道路」が7月26日開通しました。

「生山道路」は、江府町から広島県三次市に至る延長約90キロの地域高規格道路「江府三次道路」の一部区間で、延長約4.6キロの自動車専用道路です。

開通にあわせて行われた竣工式には片山知事をはじめ、県・町関係者、地元代表者などが出席、通り初めパレードなどを行いました。

また、開通に先立ち7月23日には、開通前の道路を歩く「開通記念ウォーク大会」が開かれ、多くの人が参加、快晴の下で景色を味わいながらウォーキングを楽しみました。

「江府三次道路」は、将来中国縦貫自動車道や中国横断自動車道岡山米子線と一体となって広域的なネットワークを形成し、交通・物流の円滑化による地域経済の振興や地域のみなさんの利便性の向上など、地域の活性化に大きく寄与するものです。

人権を見つめなおす

町人権・同和教育学習講座

7月15日、開発センターで町人権・同和教育学習講座（町教育委員会主催）が開かれました。

講師には大山町立光徳小学校教頭、河合鎮徳（ちか）さんを迎え、「暮らしの中の人権を見つめなおしてみませんか」と題した講演が行われました。

河合さんは、部落差別やハンセン病元患者への差別など、県が取り組んでいる8つの人権問題について話し、また差別を描いた歌をギターで弾き語りするなど、バラエティー豊かな内容で様々な人権問題についての思いを語りました。



差別の現実を歌う河合さん



一人ひとりに安全運転を呼びかけ

事故のない明るいまちに

夏の交通安全県民運動

7月12日から21日まで、夏の交通安全県民運動が行われました。今回は、子どもと高齢者の交通事故防止、シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底、自転車の安全利用の推進、を重点事項に、県内全域で運動が行われました。初日の12日には、町交通安全対策協議会員や交通指導員ら約20人が参加し、街頭広報を行いました。

参加者はサンプラザと丸合駐車場で、車で訪れる買物客らに交通安全のチラシや記念品を手渡ししながら、「安全運転を心がけましょう」と呼びかけました。

イノシシ被害を防止

下上菅集落で防護柵設置

相次ぐイノシシによる農産物被害を防ごうと、7月17日、下上菅集落の水田で防護柵の設置作業が行われました。

これは、集落が中山間地域等直接支払交付金を活用し一昨年からの取り組みでいるもので、当日は地元住民のほか、県のイノシシ対策ボランティア「イノシシ団」や、学生ボランティア合計21人が参加し、総延長1キロにわたって金網フェンスを設置しました。

お知らせ「イノシシ団」は、防護柵の設置・撤去や維持管理を行うボランティア組織です。派遣を希望する集落は役場産業振興課（電話722101）までご連絡ください。



地元とボランティアが力を合わせて



コーラスグループアザレア（黒坂）のみなさん

響きわたる澄んだ歌声

日野川合唱フェスティバル

日野川沿いの7つの合唱団の定期演奏会「日野川合唱フェスティバル（日野川合唱連盟主催）」が7月31日、町文化センターで開かれました。

まちからは、森の子合唱団、コーラスグループアザレア、合唱団おしどりたちが出演し、美しいハーモニを聞かれました。

また、特別演奏として米子市在住のソプラノ歌手、小椋美香子さん、恩田千絵さんによる「中山晋平の世界」と題した歌唱も行われ、観客たちはその張りのある豊かな歌声に聞き惚れていました。